

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人貞徳会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム川名山荘 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り支援		見守り支援システム「眠りスキャン」 (パラマウント株式会社製)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年3月15日	8台	年 月 日	年 月 日から 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

- ・当該機器による高い効果が得られる方(昼夜逆転傾向が強い方やベッドからの転倒や転落のリスクが高い方等) 8名を対象に常時使用している。
- ・使用方法としては、マットレス下に当該機器を設置し、常時そこから得た睡眠、覚醒のデータをiPadやPCに転送させている。
- ・各ユニットにおける会議等で、当該機器から得たデータを検証して、対象利用者の生活リズムに合わせたより適切なケアの方法の実践に繋げている。

## 【介護ロボットの導入効果】

- ・対象利用者の睡眠と覚醒のリズムを週単位や月単位で比較することができるため、対象利用者の生活リズムの把握に繋がってきている。それに伴い、夜間就寝時、どのタイミングで訪室を実施すれば、安眠を妨害しないかを検討することができる等のケアの質の向上に一役買っている。また、訪室により覚醒を促してしまうことも減少しつつあるため、覚醒時に長時間の対応を要さなくてよい等、夜間勤務職員の介護負担軽減にもつながっている。
  - ・従来の離床センサーと違い、早い段階(ベッド上での覚醒時)でもアラート音を設定できるため、ベッドからの転倒・転落の事故リスクが高い対象者に対しては、非常に効果が高い事故予防対策となっている。
- そのため、夜間等の配置人数が少ない時間帯等においては、職員の精神的負担軽減にも繋がっている。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 杉友商事株式会社 )

事業所名 ( グループホームあいか )

サービス種別 ( 認知症対応型共同生活介護 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		介護ロボット見守り装置 Mi-Ru (ミール)	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年3月2日	1台	29年3月2日	年 月 日から 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

夜間、介護職員の手薄な時間帯に、立ち上がりで転倒のリスクの高い利用者様の居室に設置した。毎晩、ベッドからの座位・立ち上がりを検知し、介護職員がすばやく対応できている。また、感知したときに職員からの声掛けをしている。

## 【介護ロボットの導入効果】

今までセンサーマットで対応していたが、マットが感知した後では対応が遅く転倒のリスクが高かったが、介護ロボット導入後、座位の段階ですばやく対応でき、転倒リスクが減った様に思われる。  
また介護職員が遠隔で声掛けができるので、利用者様の要望をその都度確認できる様になった。

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人東海 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム東海の里 )  
 サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
非装着型睡眠計 (見守り)		「見守り支援システム」眠りSCAN	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成28年3月28日	9	平成28年3月28日	年 月 日から 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <p>初めて導入したロボットであるため、職員がロボットの動き機能などを把握するために、以下の3点を用途として使用を開始したものの。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新規入所者様の生活リズムをつかむために入所から一定期間(2週間程度をめぐり)に使用した。</li> <li>認知症などにより、動きの把握が困難で転倒の危険性のある利用者様のベッド臥床時の状況把握のために使用した。</li> <li>ナースコールの使用が困難で、かつ安定して排泄に行くことができない入所者様の状況把握のために使用した。</li> </ol>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>使用した上記の3点の用途の導入効果は次のとおりです。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>新規入所をされた利用者様に使用し、睡眠状況や排泄に起きる間隔などをこれまでよりも早く把握することができようになった。また、睡眠状況がグラフで表示することができるため視覚で利用者の状況を確認することができ職員同士で情報共有をすることがしやすくなった。</li> <li>認知症などにより、行動がつかみ辛かった入所者様の起き上がりに対して、より早く対応することが可能となった。</li> <li>ナースコールの使用が困難な入所者様で、排泄行動が安定しない入所者様の、覚醒、起居の把握ができることで、排せつ介助に対応ができるようになった。</li> </ol>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人成仁会 )

事業所名 ( 特別養護老人ホームメドック東浦 )

サービス種別 ( 介護老人福祉施設 )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
介護施設見守り		見守り支援システム「眠り SCAN」	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
29年 3月 1日	10	29年 3月 1日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <p>29年3月1日パラマウントベッドより納品、設置を行う。          介護職員にむけ、取り扱い説明を実施。          iPadでも確認できるようアプリをインストールする。          眠りデータをとらせてもらうことのご理解をご本人、ご家族に説明を行う。          ご了解いただいた方に実施。</p>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <p>全室個室である当施設はプライバシーを重視される入居者様が多数みえ、これまでも起床時に転倒の危険性がある方でも安全最優先を理由にした「居室扉の開けた状態で臥床いただく」「目の届くりビングで過ごしてもらう」などの対応は控えてきました。          眠りスキャンを導入し、スタッフから気持ちの負担が減った声がまずあがりました。ご本人の希望での個室利用とは理解しながらも、訪室し転倒を発見するストレスや転倒を防げなかった罪悪感は介護職員にとって大きなものであり、その回避にかなりの効果があると期待しています。転倒の軽減に直接関係したデータはまだ取れていないが、起きられてすぐに訪室できたので、転倒を防げたという事例もありました。          ご利用者様のADLの変化もあるので、転倒軽減の目に見える効果は難しいかもしれないが、職員の負担軽減はアンケート等で図っていこうと思っています。</p>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 ( 社会福祉法人 長寿会 )  
 事業所名 ( 特別養護老人ホーム )  
 サービス種別 ( シルバーピアかりや 特別養護老人ホーム )

介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
見守り		見守り介護ロボット ケアロボ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
平成 29 年 3 月 22 日	1 セット	平成 29 年 3 月 22 日	年 月 日から 年 月 日まで
<p><b>【介護ロボットの使用状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症で歩行可能だが足取りがおぼつかない方で、トイレ時等にナースコールで呼んでいただけない方に使用。</li> <li>・ご利用者様が起上り時センサーマットに足をのせたら作動・写真を撮影し送信する。</li> <li>・職員は写真を確認し訪室し対応する。</li> <li>・ご利用者様がベッドに臥床時に使用しご利用者様の状況把握に努めている。</li> </ul>			
<p><b>【介護ロボットの導入効果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用開始から約1ヶ月間程度しか経っておらず、細かいデータ活用まではできていない。</li> <li>・今までご利用者様の声や物音で居室へ駆けつけていたものが、「見える化」したことによってご利用者様の状況把握しながらの対応となり、スタッフの精神的なゆとりが生まれている。</li> </ul>			

(注) 介護ロボット毎に作成すること。